



第1回 日韓透析医療勉強・交流会

The 1st annual Hemo Dialysis Conference



開催日:2015年4月18日

場 所:キョンヒ大学/韓国 (Kyong hee University Seoul)

主 催:キョンヒ大学腎臓内科

医療法人社団松和会では、以前より親交のあったキョンヒ大学腎臓内科グループを交え、両国における透析医療の現状や今後の課題について意見交換を行うとともに、それぞれの経験を今後の治療に反映すべく、勉強会を開催いたしました。

2009年より定期的に行っている台湾との交流会とともに透析治療の実情を知るだけにとどまらず、参加したスタッフが抱いた新たな発見や治療に対する考え方を、少しでも多くの方々に広めることを目的とし、今後も引き続き開催してゆくことで、アジア諸国の透析治療の一端を担えればと考えております。

なお、当法人では今年4月からアジア太平洋腎臓学会推進室(富野康日己室長)を立ち上げ、今後一層のアジア・太平洋地域との連携を深めてゆく予定です。

【慶熙大学(KYONG HEE UNIVERSITY) について紹介】



慶熙大学は、世界で唯一医学、歯医学、韓医学、薬学、看護学など5つの医学分野が共存する大学であり、それぞれの分野の長所を生かし新たな診療システムを構築するなど、非常に患者様の満足度の高い大学病院です。2005年度「国家顧客満足度調査医療部門」において第1位を獲得しました。

【シンポジウム演題】

Session I: Current status of renal replacement therapy (10:00-10:40)

1. Current status of renal replacement therapy in Korea
2. An overview of regular dialysis treatment in Japan

Session II: Clinical issues in dialysis center

1. Indication and mechanism on interventional radiology for vascular access trouble of HD patients
2. Traditional and non-traditional biomarkers of cardiovascular mortality for HD patients
3. Provision of terminal care through an outpatient dialysis clinic

Lunch (12:15-13:15)

Dialysis Center visit (13:15-14:00)

Session III - Cases in hemodialysis clinic 1 (14:00-14:50)

1. HD catheter infection due to the contamination of chlorhexidine with Burkholderia cepacia.
2. Clinical Engineer and Water Quality Management

Session IV- Cases in hemodialysis clinic 2 (15:20-16:10)

1. Improvement of a Quality of Blood Access Maintenance
2. Experience of far infrared therapy on arteriovenous fistula ma

最初の演題「日本における透析療法の概要」を発表する
順天堂医院井尾先生とChairManを務める松和会富野





★カンファレンス会場

土曜日にもかかわらず、日本側から29名、韓国側から50名が参加しました。看護師、学生、医師など多くの方々が、朝9時より夕方4時まで充実したカンファレンスを開催いたしました。



発表風景

日本から参加いただいた先生方より、「シャントトラブルのお話」「癌と腎不全を患う患者さんの終末期医療の事例」など、日々起こり得る事例に対し、医師としてまた、人としてどのように向き合うかをお話いただきました。韓国の先生方も熱心に耳を傾けられ、質疑応答の時間が短く感じられるほど白熱した意見交換が行われた。



施設見学並びに午後の発表も滞りなく終わり記念撮影！



第1回日本韓国透析シンポジウムを無事終え、安堵と充実した表情が印象的な1枚。今後も腎臓病及び透析治療に関する意見交換を活発に行うことで、医療レベルの向上に努めて参ります。